

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

12月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2025. 2. 20 No.112

特集

塩原もの語り館
×
市議会



MENU

特集	P 2
常任委員会の審査・調査	P 6
会派代表質問・市政一般質問	P 8
Future	P 16



特集 塩原もの語り館 × 市議会

受け継がれる「おもてなし」の心



塩原もの語り館

塩原温泉の中心地に位置し、塩原温泉を訪れた文人を紹介する資料展示室をはじめ、塩原で採れた高原野菜の直売所、カフェレストラン「洋燈（らんぷ）」等で構成された複合施設。

塩原温泉観光協会と市観光局が同事業体として運営しており、年間約13万人のお客様が訪れている。

<直売所でのお仕事は？>

◆塩原で採れた新鮮な高原野菜を販売しています。代表的なものはみずみずしさが人気の塩原高原大根で、一日に100本以上売れることもあります。どの野菜も農家さんが一生懸命作ったものなので、ありがたく思いながらお店に並べています。

<カフェレストランの人気メニューは？>

◆地元産の食材による洋食を中心としたメニューを提供しています。箒川を眺めながら食事ができるので、紅葉時期などは一日に100人近くのお客様が訪れます。

一番人気のあるメニューは、四季折々の食材を使った「もの語り文豪ご膳」です。

<資料展示室はどんなところ？>

◆明治・大正時代を中心に塩原温泉を訪れた夏目漱石や尾崎紅葉、与謝野晶子などの文人を「風の人」として紹介しています。また、塩原温泉にゆかりのある人物にまつわる企画展を開催しています。過去には、塩原で生まれ江戸吉原で太夫となった「塩原高尾（しおばらたかお）」の企画展を開催し、テレビでも紹介されました。



塩原もの語り館に関する問い合わせ

塩原温泉観光協会
☎ 0287-32-4000

お客様の笑顔を見るために

<接客をおとして感じることは？>

◆お客様と話していると、冬でも寒さを忘れ、こちらまで元気になります。リピーターの方がスタッフの名前を覚えていて「〇〇さんいますか。」などと声をかけてくださることもあり、とてもうれしく思います。地域の方が集まる“お茶飲み場”のようになっているので、ここに来て“ほっ”と一息ついてほしいです。

<苦勞していることは？>

◆季節によってお客様の数に差があることです。紅葉時期は開店前から大勢のお客様がレストランに並び、スタッフは水を飲む余裕も

ないほど大忙しですが、寒い時期はお客様の足が遠のいてしまう課題もあります。どうしたら寒い時期にも多くのお客様に来ていただけるかが課題です。

<多くの人に来てもらうために工夫していることは？>

◆「塩原のんびり湯っくり雑めくり」というイベントに合わせてワークショップや琴の演奏を実施しています。また、クリスマスなどのイベントに合わせて装飾を施したりと、小さな工夫を重ねています。

<もの語り館の“推し”ポイントは？>

◆四季折々の景色を見ながら食事や買い物などを楽しめるところです。紅葉の季節はもちろんですが、青葉の季節や雪景色も素晴らしく、箒川や「紅の吊橋」など、見所がたくさんあります。

<塩原のいいところは？>

◆なんといっても「人」です。塩原温泉は昔からの観光地で多くの客人を受け入れてきた歴史があるので、DNAにおもてなしの心が組み込まれているのだと感じます。塩原の人は、お客様にサービスしたいという思いが強く、お客様の笑顔から元気もらっています。

各議員の議案等に対する賛否の状況 賛否の分かれた案件のみ記載しています。

会派名	シン・那須塩原	サステイナブル21	志絆の会	クラブ	公明	敬清会	かがやき	無名塾	那須野ヶ原のそみ会	農業と環境の会	対話の会	日本共産党	採決結果												
議員名	森本 彰伸	齊藤 誠之	相馬 剛	松田 寛人	齋藤 寿一	室井 孝幸	山形 紀弘	中里 康寛	中村 芳隆	小島 耕一	鈴木 伸彦	眞壁 俊郎	金子 哲也	田村 正宏	星野 健二	星 宏子	平山 武	大野 恭男	玉野 宏	山本はるひ	佐藤 一則	益子 丈弘	三本木直人	林 美幸	堤 正明
議案第110号	那須塩原市ゆめみらい応援給付金基金条例の制定について												可決												
議案第111号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について ①												可決												
議案第112号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について ②												可決												
議案第113号	那須塩原市表彰条例の一部改正について ③												可決												
議案第114号	那須塩原市図書館条例の一部改正について												可決												
議案第115号	那須塩原市水道事業の布設工事の監督及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について ④												可決												
議案第116号	財産の減額譲渡について ⑤												可決												
議案第117号	公の施設の指定管理者の指定について ⑥												可決												
議案第118号	公の施設の指定管理者の指定について ⑦												可決												
議案第119号	公の施設の指定管理者の指定について												可決												
議案第120号	公の施設の指定管理者の指定について												可決												
議案第121号	公の施設の指定管理者の指定について ⑧												可決												
議案第122号	公の施設の指定管理者の指定について ⑨												可決												
議案第123号	那須塩原市国土強靱化地域計画の改訂について												可決												
議案第124号	市道路線の認定及び廃止について												可決												
議案第125号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第7号) ⑩												可決												
議案第126号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)												可決												
議案第127号	令和6年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)												可決												
議案第128号	令和6年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算(第2号)												可決												
議案第129号	令和6年度那須塩原市水道事業会計補正予算(第2号) ⑪												可決												
議案第130号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)												可決												
議案第131号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)												可決												
議案第132号	令和6年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)												可決												
議案第133号	令和6年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算(第3号)												可決												
議案第134号	令和6年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算(第2号)												可決												
議案第135号	令和6年度那須塩原市水道事業会計補正予算(第3号)												可決												
議案第136号	令和6年度那須塩原市下水道事業会計補正予算(第2号)												可決												
議案第137号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について												可決												
発議第11号	中里康寛議員に関する辞職勧告決議について ⑫												可決												
発議第12号	議長に関する不信任動議について ⑬												可決												
発議第13号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について												可決												
発議第14号	那須塩原市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について												可決												

【○】は賛成 【×】は反対 (採決日は11月29日)
敬清会 玉野 宏 議員は、12月20日付けで辞職しました。



討論

※動議とは…議員から議会に対して、または委員から委員会に対してなされる提議のこと

発議第11号 中里康寛議員に関する辞職勧告決議について ⑫

反対 ● 今回の不祥事に関して、調査特別委員会から報告があったが、まだ、はっきりしたことは申し上げられないということであった。司法の決断を待ってそれからの判断が最適だと思うことから今回の動議には反対する。(室井 孝幸議員)

賛成 ● 中里議員は20万円を佐藤議員に返しており、さらに佐藤議員に警察への被害届を取り下げるよう何度もお願いしていることから、一般的な感覚からして疑いを持たざるをえない。高い道徳観が求められる議員として、自ら辞職するべきである。(三本木 直人議員)

発議第12号 議長に関する不信任動議について ⑬

反対 ● 本来、不祥事に対しては、初期対応、正確な情報公開、謝罪、そして隠蔽しないことが重要とされている。そういう意味からいけば議長に一定の責任はあるが、議会への信頼が大きく損なわれている状況の中で、これ以上混乱を招くような不信任動議には反対する。(田村 正宏議員)

賛成 ● 中里議員が(佐藤議員のカバンから)お金を抜く際に山形議長は見ただけでなく、どれだけ取るか合図をしていたという目撃者証言は信頼に値する。その後、抜き取られたお金が議長にも配られたとされる。なぜ止められなかったか、その責任は重い。(金子 哲也議員)

議案等の審査結果

本会議において審議された議案の結果(報告案件は除く)は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議案第110号	那須塩原市ゆめみらい応援給付金基金条例の制定について	可決
議案第111号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について ①	可決
議案第112号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について ②	可決
議案第113号	那須塩原市表彰条例の一部改正について ③	可決
議案第114号	那須塩原市図書館条例の一部改正について	可決
議案第115号	那須塩原市水道事業の布設工事の監督及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について ④	可決
議案第116号	財産の減額譲渡について ⑤	可決
議案第117号	公の施設の指定管理者の指定について ⑥	可決
議案第118号	公の施設の指定管理者の指定について ⑦	可決
議案第119号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第120号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第121号	公の施設の指定管理者の指定について ⑧	可決
議案第122号	公の施設の指定管理者の指定について ⑨	可決
議案第123号	那須塩原市国土強靱化地域計画の改訂について	可決
議案第124号	市道路線の認定及び廃止について	可決
議案第125号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第7号) ⑩	可決
議案第126号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第127号	令和6年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第128号	令和6年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第129号	令和6年度那須塩原市水道事業会計補正予算(第2号) ⑪	可決
議案第130号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)	可決
議案第131号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第132号	令和6年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第133号	令和6年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第134号	令和6年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第135号	令和6年度那須塩原市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第136号	令和6年度那須塩原市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第137号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
発議第11号	中里康寛議員に関する辞職勧告決議について ⑫	可決
発議第12号	議長に関する不信任動議について ⑬	可決
発議第13号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	可決
発議第14号	那須塩原市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決

広聴広報委員会からのお知らせ

同意第5号	那須塩原市副市長の選任について
同意第6号	那須塩原市固定資産評価員の選任について
議案第56号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算
議案第57号	市道路線の認定について ③
議案第58号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算
議案第59号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別
議案第60号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算

市任委員会

建設経済常任委員会 【審査分野】都【委員】◎大野 齋藤寿一

県の道路が市に移管され、市が管理する道路が増えます ③

問 通学路の変更や除雪の計画といったものは変更になるのか。

答 変更は特にない。

問 今後市が管理運営するとのことであるが、維持管理費はどのようになるのか。

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
 【委員】◎大野恭男○小島耕一、山形紀弘、星野健二、中里康寛、鈴木伸彦、中村芳隆、齋藤寿一



旧塩原温泉華の湯

水道布設工事について、市の工事管理者の資格要件が緩和されます④

問国の法律が変わった背景は。

答令和4年の規制改革推進会議で、水道・下水道を含めて内部の組織体制について調整を図り、人手不足の解消のため改正につながった。

旧塩原温泉華の湯の売却が決まりました⑤

問売却に関して、華の湯の運営を続けるという条件はついているのか。

答建物をそのまま利用するという条件はつけていない。条件は、上・中塩原の温泉管理事業の給湯を受けること、受け渡し3年以内に提案をした事業を開始することなどである。

もみじ谷大吊橋の指定管理者が決まりました⑥

問候補者選定審査基準のうち、管理経費の縮減をゼロと評価している理由は。

答経費が削減されるかどうかで見ており、例年通りの見積もりであったことから、ゼロになった。

湯っ歩の里の指定管理者が決まりました⑦

問候補者選定基準のうち実績の有無について、配点10のうち2点であるが、実績がなくても問題ないと判断したのか。

答会社のプレゼンを聞き、非常にアイデアのある提案で、十分運営を任せられると判断した。

予算常任委員会

【委員】◎森本彰伸 ○益子丈弘 ○大野恭男、その他全議員

大豆の生産拡大に伴う機械導入費へ補助を行っています⑩

問農業振興費の補助金の内容について伺う。

答大豆の生産拡大に伴う機械導入費に対する補助である。

グラムを予定している。また、チアリーディングスクールの子どもたちにも出演いただき、イベントを盛り上げる演出を計画している。委託先はこれから入札して決める予定である。

順次、水道管の修繕を行っています⑪

問今年度の水道管の修繕箇所は何箇所になるのか伺う。

答11月末現在で195件、金額は5,979万4,300円である。

放課後等デイ・サービスの事業所が3カ所増えました⑩

問障害者福祉サービス給付費について約3億5,000万円の増額補正となった理由を伺う。

答当初予算を編成するにあたり令和5年度の実績見込額から3%程度上回った額で予算を組んだが、上昇率が見込みより伸びたことと上昇率が一番大きい放課後等デイ・サービスの事業所が3つ増えたためである。

にしなすの運動公園屋外バスケットコートの竣工記念事業を行います⑩

問にしなすの運動公園屋外バスケットコート竣工記念事業の内容と委託先を伺う。

答式典とイベントの構成で、イベントでは県内のバスケットボールチームから選手を3名ほど招待し、市民との交流を図るプロ

こんなことを審査・調査しました

問…質問、答…回答、意…意見
 ※ ◎は委員長、○は副委員長

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
 【委員】◎森本彰伸○林美幸、三本木直人、田村正宏、齋藤誠之、佐藤一則、平山武、松田寛人、金子哲也

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理がありました①

問国の法律の改正に伴い条例を整理することの解釈で良いのか。

答全て法改正に伴う改正で、条ずれの改正のみとなっており、市独自の改正ではない。引用する条文の内容自体に変更はない。



那須塩原市表彰条例の一部改正がありました③

問条例の改正により対象外になったものと、新たに対象になるものがあるが、それらの具体的な対象は、どこで確認することができるのか。

答条例の改正は文言の整理等だけで具体的な名称は出てこないが、条例に合わせて規則の改正を予定しており、その中で対象を示す。

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理がありました②

問今まで禁錮と懲役とされていたものが、まとめて拘禁刑ということになったことに伴う条例の整理であるのか。

答そのとおりである。

問懲役と禁錮とはどのようなことなのか。

答犯罪を犯した者が入所する刑務所において、懲役は刑務作業すなわち仕事を行う義務がある刑罰であり、禁錮は刑務作業がない身柄の拘束だけの刑罰である。

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
 【委員】◎益子丈弘○星宏子、堤正明、室井孝幸、相馬剛、眞壁俊郎、山本はるひ、玉野宏

公の施設の指定管理者が決定しました⑧

問黒磯文化会館と三島ホールを一体として指定管理者制度にする事によってどの程度の経費削減を見込んでいるのか伺う。

答会計年度任用職員1人分の人件費と三島ホールの委託料の合計で年間約700万円の経費が削減される見込みである。

問三島ホールと三島公民館の事務所内での業務のすみ分けについて伺う。

答事務所を物理的に分けるのではなく、現在の事務所の中で業務を分ける形になり、公民館の事務は市の職員が対応し、ホールの受付や運営は文化振興公社の職員が常駐して対応する事になる。

問公募ではなく特定の団体を選定した理由



図書館「みるる」

を伺う。

答文化振興公社は、三島ホールを運営するためのしっかりとした技術力を持っており、これまで黒磯文化会館の指定管理者としての実績を残し研さんも積んでいる。さらに、公益財団法人という公益性も加味して選定した。

問図書館「みるる」の指定管理者について、図書館流通センター以外に応募はあったのか伺う。

答事前に問い合わせが他に2件ほどあったが、応募には至らなかった。



シン・那須塩原
森本 彰伸議員



新庁舎は、職員が働きやすく、市民が利用しやすい物にしていきたい。
その他、令和7年度予算編成にあたっての重点推進テーマへの考えについて聞きました。

新庁舎の目的と役割について

問市長の考えでは、新しい庁舎を駅前の構成要素として、市役所はどのような役割を果たしていくと考えているか伺う。

答駅前周辺整備のデザインと一体となる必要があると考える。工期が先行する庁舎は最初に駅前周辺のイメージに合ったものを示す場所だと考える。

問この事業は、渡辺市長が市長になる前からあった計画であり、自分が始めた事業ではないとの認識をもっていると思うが、この新庁舎は市長として「責任をもって建設するものである」という声を聞きたいがいかか。

答当然、私の一大事業として進める。

問著名な隈研吾氏のデザインを選んだことで、新庁舎の建設費が他のデザインを選ぶより高額になったということはないか伺う。

答今回の公募型プロポーザルにおいては、5者の参加者があったが、安井・隈設計共同体の提案額は低い方から2番目であり、他に比べて高額であるという認識はない。

問隈研吾氏のデザインという木材をふんだんに使ったデザインが思い浮かぶが、木材は腐食するという欠点もある。メンテナンスに大きなコストがかかるのではないかと聞かれるがいかか。

答新庁舎においては、雨風が当たるところには木材を使用しない。天井や内装そしてカウンターなど市民の目に触れやすいところに使っていく。



小島 耕一議員



健康長寿センター長寿の湯をはじめとした市温泉施設の方向性について

問健康長寿センター長寿の湯は、年間入場者数10万人を超えて一番多くの方が利用しているのに、民間譲渡に取り組んだ理由は。

答令和4年度の事業棚卸で市有施設の在り方を見直し、将来的な財政負担の軽減等を理由に、令和6年度末で管理運営を終了し、民間活用を検討した。

問サウンディング調査での2業者の提案と課題については。

答温泉施設利用と子育て世代対象の提案があり、施設の老朽化に伴い温泉設備の修繕が想定されることが課題。

問長寿の湯の赤字の原因は、高齢者の利用料を200円と安くしているためであり、400円と倍にすれば赤字は減少し、市民の継続希

1. 健康長寿センター長寿の湯をはじめとした市温泉施設の方向性について
2. 農業の新規参入者等の担い手育成について

望にもこたえることが可能ではないか。

答長寿の湯については、近隣に民間の日帰り温泉施設があることや、料金値上げをすると利用者数が減少し経営改善が困難と考えて終了することにした。

問2月の議員全員協議会での長寿の湯の管理運営を終了する資料は意図的な部分がある。

答旧市町村単位で温泉施設は5カ所あり多すぎる。温泉施設だけで1億2,000万円の赤字があることから、那須塩原の在り方で議論を詰めたいとできないか。

問長寿の湯は、旧西那須野町がつくった温泉施設で地域の宝。民間活用を考えると高齢者の利用料を200円から400円にして利用者の動きを見る必要がある。

答残していくともものすごく改修費がかかり、なかなか難しいと思っている。



公明クラブ
田村 正宏議員



市民の皆様にはぜひ次回の選挙で積極的に投票所に足を運んでいただきたいと願っています。

「GIGAスクール構想」に基づく市の取り組みについて

問「GIGAスクール構想」は、全ての子どもたちに公平な学びの機会を提供し、デジタル技術を活用して、個別最適化された教育を実現するものであるが、対面でのコミュニケーションや体験を通じたアナログ的な学びが、人間としての感性や共感性、想像力を育み、単なる知識を超えて社会を生き抜く力を養う重要な役割を果たすと考える。デジタルとアナログの共存についての見解を伺う。

答デジタルとアナログの共存は、現代の教育環境において非常に重要なテーマである。授業の方法や手段が大きく変化する中でアナログ的な学びの価値も再認識されており、この異なる特性を持つ両者の効果的な組み合わせが子どもたちの学びをより豊かにするものと

認識している。

投票率の向上について

問選挙への投票は、市民が自らの意思を政治に反映させる重要な手段であるが、近年の選挙における投票率の低下は顕著であり、将来の民主主義を維持するためにも有効な対策が必要ではないか。

答若年層に対しては、政治的関心を高め投票率向上につながるような効果的な選挙啓発を行うことが重要であると考えている。また、高齢者など投票所への移動困難者に対しては移動投票所や効果的な移動支援方法を検討していきたい。



鈴木 伸彦議員



損害賠償金4億4,030万円を支出している那須高林産業団地について

問令和5年12月に400万4,000円の債務負担行為を設定し、令和6年2月に発注した石の成分分析の進捗状況について伺う。

答検体の岩石表面から構成鉱物を確認する肉眼鑑定調査を実施した。現在、岩石に含まれる微化石等をマイクロスコプによる調査をしている。

問時間がたち、風化して解決されず、忘れ去られることはあってはならない。時効や記憶の消滅など、時間の進行に関してどのような対策を取っているか伺う。

答まず原因者の特定をすること、原因者に損害賠償を求めていくことが大事なことである。さまざまな手法という提案もあるが、成分分析調査の結果いかんで、どう方策を取っ

市民の血税から賠償金を支払った那須高林産業団地の事案は行政の在り方として風化させてはならない。対応の仕方も重要である。

ていくかというところに注力していきたい。

問方策が1つしか見えていない。目視で時間がどどんたっている。結果を出そうとしたら、方策をきちんと考えて実行していただきたい。このような事案が許されたり繰り返されたりすることが行政であってはならない。どのような考えか伺う。

答現在、原因者が特定できていない状況である。今後取り得る可能性のある方策については、全てを現段階で明らかにすべきではないと考える。また、相手方に真摯に向き合うということも大事であるし、今後こういったことが起きないように、産業団地だけでなく、市が行う契約事項、契約行為に関し細心の注意を払うべきと考えている。



佐藤 一則議員



商工業の活性化について

問直近5年間の卸売業・小売業の商店数の推移について伺う。

答国が令和3年に実施した経済センサス活動調査の結果によると1,316事業所となっており平成28年度の1,436事業所に比べ、120事業所が減少している。

問減少した要因を把握しているか伺う。

答主な要因として、事業主の高齢化、後継者の不在、大型店舗の進出等で廃業が進み減少したと考える。

問減少していくことにより、どのような影響が考えられるか伺う。

答食材や日用品の購入に支障をきたし、特に交通手段を持たない高齢者世帯等の日常生活への影響が懸念される。

問懸念事項を解消する対策があるのか伺う。

商工業の活性化により税収・雇用の安定や定住人口増加を期待します。

答卸売業・小売業の事業者を支援するため、引き続き商工会と連携して事業継承等の事業推進を図るとともに、交通及び福祉関係部署等と協力し、日常的に買物に困難を抱える方々をサポートしていきたい。

問中小企業事業者資金（制度融資）の内容と活用数について伺う。

答運転資金563件、設備資金204件、小規模企業支援資金311件、創業支援資金79件、事業承継支援資金3件、季節資金4件、罹災特別資金120件、合計で1,284件である。



大野 恭男議員



高齢者福祉事業について

問介護人材不足に対する現状と課題、今後の対応を伺う。

答介護サービスを提供したくても人員不足により事業を実施できない事業所があるなど人材不足が喫緊の課題であり新規就労者や介護の有資格者の確保が必要である。新規就労者確保に向けた取り組みとして介護に関する入門的研修の開催と若年層を対象にした介護職に関するPR活動事業等を行い、有資格者確保の取り組みとして令和6年度から介護資格の取得費用助成を始め、現在まで5人に対し行っており引き続き人材確保の推進を図る。

問那須塩原市の介護職員の必要数をどのように捉えているか伺う。

答現時点で介護保険制度の人員基準を満たしていない事業者はないものの、令和4年度に

高齢者福祉事業は市の重要な施策であり、介護人材不足は真剣に考えていくべき課題である。

実施した事業者アンケートの結果では、人員が不足している、やや不足していると回答した事業者は、46.1%であり不足している職員数は94人である。実際の介護現場では国の定める人員基準を超える職員数を必要としているものと捉えている。

問認知症高齢者の現状と今後の対応を伺う。

答認知症高齢者数は増加傾向にある。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域住民に認知症の正しい知識と理解を深めてもらうため普及啓発や家族介護教室や認知症カフェを充実させていく。

問認知症事故救済事業導入についての市の考えを伺う。

答県内市町の実施状況や事業内容について調査研究を行い、事業の必要性について検討していく。



山本 はるひ議員



那須塩原駅周辺まちづくりについて

問グランドデザイン会議と協議体での議論・提言内容を伺う。

答会議では環境と景観を生かしたまちづくり、歩いて楽しいウォークアブルな空間づくりの必要性を、協議体では駅周辺の交通網や空間と土地利用、また訪れたいまちづくりなどを検討中。

問駅西口前での「公共空間利活用の社会実験」の内容と今後の予定を伺う。

答公共空間の利活用を検討するため行った。自動車交通量のデータをまちづくり基本計画に活用していきたい。車道での食体験を通じて出会いや語らひを楽しむイベントになったと考える。メインイベントでは那須の食を中心に70店舗が集結、雨天にもかかわらず大勢の方に来ていただき感謝している。令和7

民間主導で開催された「那須野ヶ原開拓まつり」の今後に期待します。

年度に基本計画を作成する予定になっている。

「那須野ヶ原開拓まつり」について

問まつりの企画・運営と市のかかわり、経費について伺う。

答新たな組織を立ち上げて企画・運営を行った。市はイベント補助金の受付や資料作成補助、連絡調整などをサポートした。まつり開催の経費は市補助金のほかは自主財源で賄っている。

問実行委員会の組織の中身と当日の市の職員の支援は？

答観光協会、自治会、福祉・文化団体など14団体で構成して、市職員5人が伴走支援で関わった。



相馬 剛議員



墓地事業について

問令和4年度から墓地管理料を徴収し特別会計により墓地事業を行っている。墓地区画数、使用者不明区画、管理状況及び決算状況を伺う。

答市が設置した墓地は1,433区画、その他が1,743区画、うち使用者不明区画は170区画、管理状況は、水道の管理、除草や植木の剪定や清掃を行っている。決算状況は、4年度が歳入約1,226万円、歳出が807万円、5年度が歳入1,337万円、歳出が974万円でいずれも黒字。

問再貸与や新たな墓地の設置について伺う。

答使用者から返還された区画は、再貸与を行っている。使用者不明区画は、埋葬の状況や墓石の整理など条件が整えば、再貸与可能。新たな墓地の設置の予定ないが、樹木葬や合

1. 墓地事業について
2. ゆータクプラス実証運行について

葬など、今後墓地の需要を調査の上検討を進める。

ゆータクプラス実証運行について

問今年8月から実証運行としてゆータクプラスを開始、令和7年3月までの予定としている。現時点での課題と今後の予定を伺う。

答これまでの利用者は10月の7人、定期券は5,800円、運行時間は午前9時から午後4時まで、路線は6区域それぞれ1路線運行しカバーしている。課題は利用者が少ないこと、定期券が高い、時刻表が分かりにくいなどがあり、1回利用券も作ってほしい、行けるエリアを広げてほしいとの要望あり、それを受けて4月に見直しを図り、改めて実証運行を行う。



林 美幸議員



自殺対策について

問 自殺対策を支える人材の育成の現状について、養成されたゲートキーパーが地域でどのような役割で活動をしているのか伺う。

答 ゲートキーパーの役割は、まずは身近にいる人がいつもと違うという変化に気づき、声をかけ、話を聞き必要な関係機関につなぎ、寄り添い、見守ることである。

問 自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～では、これまでの取り組みに加え子ども・若者の自殺対策のさらなる推進や強化、女性に対する支援の強化などが追加されている。本市の保健師による妊娠期から子育て期における総合的な相談支援の効果を伺う。

答 全ての妊産婦や乳幼児を持つ保護者に対して、保健師を中心に切れ目なくきめ細かな相

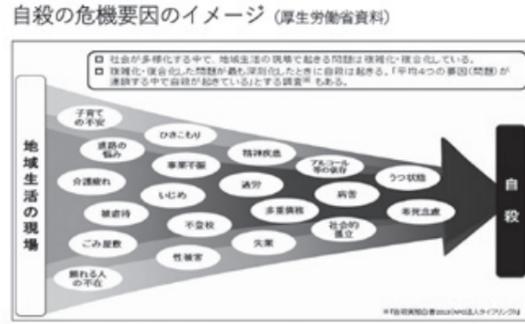
自殺は社会全体で防止すべき課題であり、市民一人ひとりの命を守ることは、行政の最優先事項のひとつです。

談支援を受けられる体制を整備することで、早期の発見と支援につながられている。

障害者や高齢者の投票支援について

問 誰もが投票できる環境整備としてコミュニケーションボードの導入を伺う。

答 総務省の資料や他自治体の事例を参考にしながら、導入について検討したい。



益子 丈弘議員



若年層の雇用環境の現状と課題、今後の取り組みについて

問 本市と栃木労働局との合同企業訪問で意見交換を行っているなかで課題はあるのか。

答 職種や労働時間の条件で求職者と求人者のニーズが合わないこと、職種の労使間のマッチングが難しいとの声があり課題と捉えている。

問 たとえば市が関わり訪問ツアーのように企業への若者やご家族等で実際に訪問し情報交換、意見交換することで課題にあるミスマッチを減らすことが可能と考えるが実施することはできないか。

答 今後、高校生サードプレイスプロジェクトという事業を実施するなかで、高校生が地域や将来等どんな考えを持っているのかを引き出し、地元の良さを理解し戻って来られるよ

それぞれに必要なとされる方に寄り添った対応やお互いの話し合いの場が大切だと考える。

うにしたい。まずは若者の考えを伺い企業訪問等の要望があれば考えていきたい。

部活動の地域移行について

問 令和7年度の新チームが活動する前に、地域移行をどのように進めるのか伺う。

答 本市においては、学校や地域、各校の受け皿となる地域クラブ、保護者と連携しながら地域の実情に合った形を模索しながら進めたい。

問 移行するうえで指導者の選定や処遇については一定のルールづくりや基準を設ける必要があると思うがどう考えているか伺う。

答 教員との違いがあるなか責任の所在などハードルがある。教育委員会としても研修等のほか身分保障や報酬等、体制づくりを整えていくため、しっかりと準備を進めていく。



星 宏子議員



塩原地区の獣害対策と農業振興について

問 農産物の獣害状況の把握方法について伺う。

答 活力あるむらづくり推進員が農作物の被害状況の調査をしている。

問 被害状況調査が行われていない農家があると聞くが全戸数を対象としたものではないのか。

答 今般の農業被害の実態を考えると全戸調査が理想だが実現可能な手法を検討していく。

問 鹿に一晩で約1,000本近くの大根を食べられ、1シーズンで12万本の被害を受けている農家もある。このような中、苦勞して生産している農作物を市がブランド化し観光や新規就農の促進を図るため、ふるさと納税返礼品としての事業拡大ができないか伺う。

答 新たなふるさと納税の返礼品の増加につい

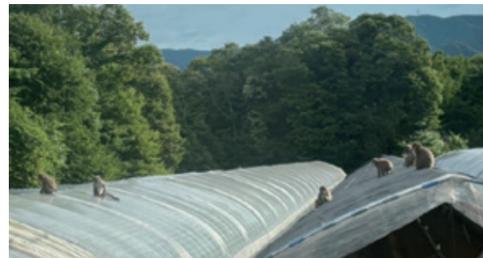
塩原地区の農作物への獣害被害が大きいため詳細な実態把握と対策を真剣に進めるべきである。

ては市としても力を入れていく。

新庁舎のバリアフリー推進について

問 障がい者専用駐車場の縦スペース確保について伺う。

答 バリアフリー法や栃木県ひとにやさしいまちづくり条例に基づき、幅3.5m以上を確保し、奥行きは一般的に5mのところを6m確保した駐車場を6台程度予定している。



塩原地区のビニールハウスと猿



堤 正明議員



学校給食の無償化実現について

問 学校給食法では学校給食は教育の一環としている。食育の考え方や学校給食の無償化に係る費用についてお聞きする。

答 食育とは、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることと考えている。健康に配慮した食材を利用したさまざまな献立の提供はもとより、給食の準備から後片づけまで子どもたちが協力して給食時間を過ごすことが食を学ぶことと考えている。給食費無償化の年間費用は、小学校で約3億5,000万円、中学校約2億円の計5億5,000万円必要である。

問 栃木県の福田知事は、市町と連携して「学校給食の無償化に取り組みたい」と述べているが、市の考えについてお聞きする。

答 無償化については、県の取り組み、国の動

国に対して給食費の無償化を強く要望していくべき。

向を注視して支援内容を見極めたいと考えている。

ゆーたくプラスの実証運行から見たドアtoドアのデマンド交通の実現について

問 利用には大人で月5,800円の定期券の購入が必要であり、目的地はバス停に限られている。市民がいつまでもこのまちに住み続けるためには、自宅から目的地まで自由に利用できるデマンド交通の実現が必要であると考えことからその実現についてお聞きする。

答 実証運行の利用者は、9月がゼロ人、10月が7人で利用が低調であることが課題であると考えている。1回利用の運賃を設定してほしい、行けるエリアを広くしてほしいといった要望があり、新年度の運行に向け利便性向上を図っていきたい。



齊藤 誠之議員



教育の質を上げるためには、さらなる教員の負担の軽減を講じ、時間的余裕を作ること

教員の働き方改革とそれを取り巻く教育環境について

問 教員の働き方改革について、教員の負担軽減の取り組みについて伺う。

答 まず、日課を工夫し、教員の研修時間や事務時間を確保でき、時間的なゆとりを持って業務に当たれるようになったこと。また、校務支援システムを活用して個人の授業資料や準備物、文書資料を校内の職員間でデータ共有し、自分の授業や業務に活用できる環境を構築したこと。さらに、小学校において教科担任制を取り入れたことで、教員の受け持つ授業数の削減や教材研究の効率化が図られ、授業準備の軽減につながっている。この教科担任制は教員個人のスキルや専門性が生かされ、児童の授業への意欲も高まってきている。

問 チーム担任制の考えについて伺う。

答 現在、本市の中でも学年担任制という呼び名で、例えば1組から3組まであれば3人の担任と学年主任を含め4人が3クラス全部の担任として実施する学校が既にある。子どもたちにとっては頼れる先生が増え、先生側としては複数の目で子どもたちを見られるメリットがある。

本市における災害・防災に対する考えについて

問 本市の防災意識を調査するためにLINE等のアンケートが実施できないか伺う。

答 LINE等を使ったアンケートは、費用も手間もかからず有効であり、市民の防災意識を効果的に調査できるツールだと思うので、できるだけ早期に実施したい。

議会からのお知らせ

インターネット録画映像配信中！

本会議の様子は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。

本会議中は、生中継も配信しておりますので、ぜひご利用ください。

那須塩原市議会 議会中継 検索

スマートフォンをご利用の場合

QRコードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ると、過去の本会議の様子を動画でご覧になれます。

※動画は通信量が多いため、Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。



パソコンをご利用の場合

【那須塩原市議会中継】でインターネット検索をすると、議会中継のページが見つかります。

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。

公式記録は会議録でご確認ください。(市議会ホームページからご覧になれます)

※録画映像は、会議当日より1週間経過後からご覧になれます。

研修参加報告書

栃木県市議会議長会主催のもと、令和6年10月24日、日光市今市文化会館において、株式会社アカデミー代表取締役、日本両棲類研究所所長である篠崎尚史氏により「カーボンニュートラルと地域循環型社会」をテーマに、議員及び事務局職員研修会が開催されました。県内14市の市議会議員及び議会事務局職員約290名が参加し、国内外のカーボンニュートラルに向けた動向や、県内での取り組みなどのお話から、環境施策の重要性を学びました。



10月24日開催 研修の様子



11月12日開催 研修の様子

また、令和6年11月12日には、那須市町村議会議長会及び那須市町村会主催のもと、那須地区広域研修センターにおいて、石川県珠洲市議会議長の番匠雅典氏により「令和6年能登半島地震発生に伴う議会の対応」をテーマに、合同勉強会が開催されました。那須塩原市、大田原市、那須町の3市町の市町議会議員約60名は、地震発生時の様子や被災状況、発災後の議会活動などのお話を伺いました。

～ 各研修参加後の感想 ～

「カーボンニュートラルと地域循環型社会」について (10月24日開催)

本市と同様に脱炭素先行地域として認定されている日光市での取り組みは、現在の課題と今後の取り組みについて分析されており、大変興味深い研修であった。今後の取り組みにある「カーボンニュートラル化とレジリエンス強化の両立」「魅力あるコンテンツをベースとした地域循環型社会の確立」は、観光を主幹産業とする日光市と本市では共通するビジョンを感じた。

「令和6年能登半島地震発生に伴う議会の対応」について (11月12日開催)

能登半島地震後の津波からの対策として日頃の訓練の成果として避難することが出来たこと、民間バス手配などの連携からスピーディーに2次避難先に移動出来たことなど、日常からの準備と官民連携の必要性を感じた。また、議員に求められた役割として、地域のリーダーとしての役割、行政からの情報収集、インフラ復旧の依頼など、日常の議員活動の延長であることがわかる。日常の信頼を非日常の緊急性ある対策に活用する必要性を学んだ研修であった。

講話を伺い突発の災害時における議会の対応は、組織である以前に議員それぞれの活動と情報の共有が重要と改めて感じた。亡くなられた方々の御冥福と被災された全ての方々が一瞬も早い日常を取り戻せますことを切に願います。

